

上海市の生活支援サービス

訪介や配食 健康相談も

中国には、「社区」という行政区間の単位があります。一定エリアの地域住民によって構成され、ここでは高齢者や障害者（児）、また一般市民向けなどの様々な生活支援サービスを受ける事ができます。これを中国語で、「社区服務」と言い、1987年に中国政府によって打ち出されました。

この制度が出来た背景には、経済改革に伴い企業単位が請け負ってきた社会的な機能を本来の姿である社会に戻すこと、急速な都市化による出稼

ぎ労働者の増加に影響を受け、社会サービスのニーズが高まったこと、また核家族化の進行により家族単位での相互扶助機能が低下したことなど、様々な要因が挙げられます。



この制度ができて約30年が経過した今、区内に居住する高齢者に提供する専門的なサービスも多様化しています。

その具体的な社区服務として、主に訪問介護サービスやデイサービス、配食や健康相談サービスなどがあります。高齢者へ提供する区内サービス組織は増え続け、現在、

多様化する在宅サービス

上海市内には約300社存在しています。そのほか、医療や衛生管理などの生活ケアサービスも充実しています。

上海市ではこのように、住み慣れた地域で受けられる在宅サービスを

基盤とした社区服務を頼りに、在宅と施設サービスの切れ目のない高齢者サービスの発展を目指しています。第11次5カ年計画（2006～2010年）で新たに提唱した介護方式「9073」システム（90％は家族介護、7％は社区サービス、3％は施設介護）の完成



中国の高齢者マーケット

～介護・不動産事業の行方～



ゲストハウス総経理 稲田義人

著者プロフィール
 ゲストハウス総経理。中国事業に携わって7年、介護職員養成学校の立ち上げや日本語介護研修の実施、また、日系介護企業を集めての上海シニア産業フェアの主催等、上海シニア事業全てを総指揮。

に向けての改革がどんどん進められています。しかしながら、施設の受入れ条件としての戸籍や社会保障問題、また個別性を重視した細かいニーズへの対応、そして正確な評価制度の導入など、課題はまだ数多くあるのが現状です。